



令和6年度 兵庫県立大学 生涯学習公開講座

## 【景観の楽しみ方（淡路島百景を例に）】

日時:令和7年9月5日(金) 13:30~15:00

受講者数:22名

会場:淡路緑景観キャンパス

講師:緑環境景観マネジメント研究科 教授 山本 聡

### ○テーマ・概要

観光地の景観は、見る場所が整備されていることが多く、どこから見れば良い景観となるかが分かりやすくなっています。観光地化していない場所でも良い景観は存在しますが、どう見ればいいかが分かりにくい場合もあります。本講座では、地域の景観に対してどのような楽しみ方（見方）ができるかについて淡路島百景の例をあげながら解説しました。

### ○内容

本講座では、最初に淡路島百景の例を見ていただき、景観のイメージについて共有し、景観を見る際の人の反応について解説しました。まず、「どのような景観を楽しんでいるのか」について、人がひきつけられるものの例を示し、参加者のイメージを膨らませていただくとともに景観を見た際にみられる人の心理的な反応について解説しました。次に、景観を人は「どのように見ているのか」について、視角や距離による見え方の違いや見るための場所である視点の重要性、眺望景観と圍繞景観の違いを中心に解説しました。最後に、普段楽しんでいる景観の存続可能性について、実際に消失してしまった景観や消失可能性がある景観があることを百景の事例を用いて紹介しました。特に、人の手により生み出された自然物が入っている景観の消失可能性が高いことや景を見るための視点が存在できる視点場の検討が必要といったことなど、景観の楽しみ方や今後の課題について参加の皆さんと情報を共有し講義を終えました。

